



むらさき会だより

このむらさき会だよりは、創立者である山村ぬみよ先生の誕生日に発行しています。また、山村学園のスタートの日でもあります。

No.20

平成28年9月1日

山村学園むらさき会

URL <http://www.yamamura.ac.jp/>

校歌

- 一、富士の高嶺の白妙を
雲のあなたに仰ぎつゝ
学びの道を踏みわけて
やがて極めんいただきを
名は山村よ我等の学舎
- 二、清き流れの大利根や
行く手は遠く広くとも
教えの海に漕ぎ出でて
底の真珠を探りなん
名は山村よ我等の学舎
- 三、初雁おとのう武蔵野に
紫におう藤の花
理想を高くかざしつゝ
いざや進まん諸共に
名は山村よ我等の学舎

ご挨拶



山村学園むらさき会
会長 田中久子

むらさき会会員のみなさま、ご機嫌いかがですか。今年度も、沢山の方々が入会されました。むらさき会と改称してから20年、会員相互の親睦と母校への支援を持続することを目標に事業を進めています。平成27年度、山村学園高等学校新校舎落成の際には、設備費として寄附いたしました。また数々の学校行事に参加しております。母校山村学園が、新しい学園として伝統と歴史が作りあげられるよう後

援していきたいと思えます。

さて、6月12日、川越プリンスホテルに於いて総会並びに懇親会を開催いたしました。お忙しい中、理事先生、顧問の山村寛先生、諸先生方のご出席をいただき学園の近況に嬉しさを覚えました。また、今日の日の楽しみに参加された方々、新会員同士がグループで参加された方々、相変わらず華やいだ雰囲気となりました。そして、恩師を囲む会員さん、これが卒業生が母校に帰る日、とても微笑ましい姿でした。アトラクションは、山村学園高等学校ダンス部の澁らつとした演技に、息を止めて見入ってしまいました。大きな拍手の後は、部員と一緒に校歌を合唱して閉会となりました。

次回も新たな気持ちで大勢の方々のご参加をお待ち申し上げます。

山村学園の現況



山村学園 理事長
岡 實 先生

昨年迄の現況では、進路については一度も触れませんでした。昨年度の進路実績で、山村学園高校は四年制大学に75%が進学し、延べ合格者数は九百名となり、国公立への合格者が30人を初めて超えました。短大に約5%、専修学校等が14%でした。山村国際高校は四年制大学に50%超が、短大12%、専修学校等に27%でした。一昨年に比べ専修学校等が減じ、四年制・短大が各4%増加しました。山村

学園短大では保育学科の就職内定率は13年連続100%でした。

創立百周年を前に卒業生名簿の整備を行っておりますが、本年度も平成元年以降の卒業生約2万人に対し返信用葉書共々3校の資料を同封する発送準備中です。

次に、入試等の資料を分析しますと、山村学園卒業生の子どもの受験が結構多いです。これは山村の特色と捉え、今迄の兄弟姉に加え保護者が卒業生の場合、入学金を半額免除の制度を拡充しました。末尾になりましたが、昨年度の学園高の特別教室棟の新築に当たり、備品の特別寄附をむらさき会より頂きました。ありがとうございました。

文化祭
学園祭の
ご案内

山村学園高等学校

ふじどの祭

9月10日(土) 9:00~
9月11日(日) 9:00~

「同窓会コーナー」がありますので、ぜひお立ち寄りください。

山村国際高等学校

紫藤祭

9月10日(土) 11:30~
9月11日(日) 9:00~

山村学園の歴史を語る 『太平洋戦争・終戦・新教育制度』



むらさき会 相談役
山村 寛 先生

昭和16年（1941）12月8日太平洋戦争勃発。開戦当初は大戦果を挙げていた戦局も時間の経過とともに厳しさを増していった。生徒の父兄や近所の人たちが次々に召集を受け、戦場へ向かった。若い兵士たちを見送るために生徒は町内で、また駅頭で、手に手に日の丸の小旗を振り続けた。

前線の兵士に送る千人針が沢山持ち込まれた。生徒たちはひとつひとつ縫い針の先に心を込め、兵士の無事を祈った。加えて避難訓練や防火訓練も度重なり、教室に落ち着くことはもはや望めぬ状況であった。

白い小さな箱になった英霊が帰還してくる日が多くなった。生徒たちは今度は国旗を持って迎えた。かつては歓喜の声で送った兵士たちが、無言のまま生徒たちの前を通り過ぎて行く。勇躍、戦場へ向かった人々の声なき帰郷が続き、その中には生徒の父兄や学校の近所の人たちも含まれていた。昭和18年（1943）10月、徴兵を猶予されていた文科系大学生たちがその猶予を廃止されたため、ペンを捨ててその手に銃を抱えて戦場に向かった。いわゆる「学徒出陣」である。

昭和19年（1944）、太平洋戦争は鮮烈を極め、戦火は日本本土へと近づきつつあった。同年1月には生徒たちのうえに「学徒勤労動員令」が発令され、全校生徒すべてが各地の軍需工場に配属された。上福岡の「陸軍火工廠」、南古谷の「浅野カリーリット」的場の「帝國火工廠」、川越市内の「日清紡績」などが主な配属場所であった。

民間工場が軍需工場に転用され、全力で軍需物資の生産をしなければならなかったが、若い労働力を戦場に奪われ、各工場とも労働力不足が深刻になっていた。

この戦いを勝た抜くために、生徒と付き添いの教員は朝早くから工場に通った。学校には誰も残らなかった。ぬみよは責任者として各工場を回り、生徒たちを励ました。徒歩では回りき

れないため、お手伝いの梅子さんの自転車の荷台に乗せてもらうこともあった。生徒たちの針を持っていった白い手に工場の力仕事はいかにも痛々しく、ぬみよの胸を衝いた。

モンペ姿に防空頭巾。肩にかけていたカバンからは教科書を出す暇もなく毎日が暮れていく。本を開くことも許されない生徒たちの気持ちを考えると、ぬみよにはこのまま学生時代を終えてしまうかもしれない彼女たちが不憫に思われた。

戦局は極度に緊迫し、爆撃を逃れるために都市部では学童疎開が始まった。いたいけな子どもたちが、小さな体にリュックサックを背負い、両親の許を離れる姿が続いた。

昭和19年末頃から本土は連日のように空襲にみまわれ、東京をはじめ全国の主要都市が次々と廃墟と化していった。農業生産力も激減し、食べる物が日を追うごとに姿を消した。

昭和20年（1945）3月10日、アメリカのB29爆撃機によって東京は大空襲を受け、壊滅状態となった。それでも政府と軍部は、聖戦完遂を叫び、新聞は、必勝の信念を国民に説いたが、敗色はもはや誰の目にも明らかになった。

そんな状況の中でも、川越高等家政女学校（昭和14年山村高等裁縫女学校を校名変更）では卒業式を挙行了。ぬみよは、たとえ形ばかりの卒業式であっても、生徒にとつては一生に一度の思い出であり、いつまでも忘れないでほしいと思つたのである。

真夏の暑い張り詰めた空気の中で、8月6日には広島に、次いで8月9日には長崎に、「新型爆弾」が落とされたらしいという噂が町に広がった。その爆弾が次にどこへ落とされるかみんな生きた心地すらしなかった。

そしてついに8月15日を迎えた。川越はお盆の15日、よく晴れた日であった。正午、天皇陛下の重大放送があるという。かたずを飲んで耳を傾けた。敗戦だという。茫然自失。放心状態の後にただ涙だけが止まどもなく流れた。生徒も教員も父母も、だれもかれも声をあげて泣いた。

ともにも角にも、戦争は終わった。一度は張りつめたままブツンと音を立てて切れた心の糸を、ぬみよはしつかりと結び直した。

9月、混乱の中から、人々の心もようやくわれに返った。気がつけば食糧も生活物資も不足し何ひとつ満足なものはないが、戦争が続くよりはましだと思つた。生徒たちは長い間、忘れかけていた勉強への意気込み、生き生き

とした表情で学校に戻ってきた。埃にまみれた教室を清掃するのも嬉しかった。

9月中旬、授業再開。生徒も教員も、今までのプランクを埋めるために真剣に勉強に取り組んだ。

特に2年生は卒業までの半年間、一刻をも惜しんで勉強した。物は何もなかったが、布の代りに紙を使って裁断の仕方を学んだ。どうしても必要な布は、母親や祖母の和服をほぐして利用した。糸は原料の綿を持って行き、近くの振り屋さんに作ってもらった。工夫しながらの毎日であったが、それでは生徒たちは平和の中で学校に行ける「しあわせ」を両親に感謝した。

昭和21年11月3日に公布、翌22年（1947）5月3日から施行された「日本国憲法」には、主権在民、平和主義、人権尊重の三大原則が明記された。

教育については、平和主義民主主義の理念に基づいた「教育基本法」及び「学校教育法」が施行され、4月から新教育制度が発足した。「教育の機会均等」「男女共学」「9年間の義務教育」を謳った6・3・3・4制である。これがいわゆる戦後の「学制改革」といわれるものであった。文部省（現在の文部科学省）は昭和22年「新制高等学校実施準備の手引き」を発行、ついで昭和23年（1948）には「高等学校設置基準」を公布し、これによって中等学校から新制高等学校への移行をはかった。

公立の中等学校と高等学校はほとんど県立か市立の高等学校となった。私立の中等学校の中には高等学校に昇格することが出来ず、逆に各種学校に格下げとなったものもでてきた。

ぬみよが校長の川越高等家政女学校も設置基準に満たないために高等学校に昇格することが出来ず、各種学校に格下げになってしまった。各種学校のままではこの後、大きな発展は望めない。在校生の将来にも影響が出る。せつかく入学した川越高等家政女学校を1年で退学し、公立の高等学校を受験しなおす生徒も現われ、ぬみよは何となくこの壁を乗り越えなければならぬと思つた。

まず校地を見つければ、このことがぬみよの頭から片時も離れなくなった。暇をみては川越市内を捜し歩いたが、学校としての条件にかなう土地はなかなか見つからなかった。

私有地がだめなら、公有地はどうだろうか。当時川越近辺の国有地は関東財務局川越出張所の所管になっていると聞き、さっそく訪ねてみた。そこには偶然にも戦争中、上福岡の火工廠

にいた齊藤氏が所長として赴任してきていた。齊藤氏には学徒勤労動員中に生徒がお世話になっていたので、ぬみよも面識があった。ここで齊藤氏に会えたことは、まさに天佑であった。

ぬみよの学校の事情を察して、齊藤氏は本腰を入れて土地捜しをしてくれた。その結果勧めてくれたのが、当時の坂戸町の旧陸軍飛行場跡地であった。駅からの距離も遠く、当時の東上線は川越市駅から下りは単線で本数も1時間以内で、通学には不便な場所かと思われたが、この土地買収に賛成したのは父の忠吉と母のはるのであった。

これまでの校地は借地であり、土地の問題では苦い経験も味わってきた。生徒たちにも不便な思いをさせてきた。両親にしてみれば、あれこれいいたくを言っている余裕はないと思つたにちがいない。

父の忠吉、夫の要二、教頭の小川留吉先生らに伴われて現地を訪れたぬみよは、広漠とした飛行場跡地を前に、ここに学校を建ててはたして生徒が来てくれるだろうかと不安を覚えた。戦争中の名残りの格納庫や倉庫が荒れるにまかせたまま点々と残骸をさらしていた。見渡す限りの丈なす草原に立ち、ぬみよは決心がつかねていた。

その時、父の忠吉が言った。「もともと、何もない所から出発したんだ。だめでもともと。ためらうことはない。やりなさい。」父のこの一言が、ぬみよに決意させた。（ためらうことはない。やってみよう）

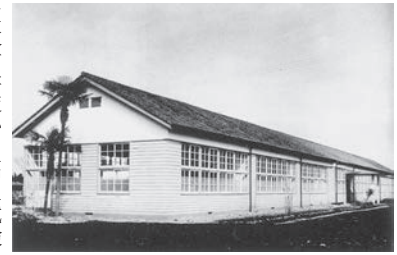
さらに、夫要二が昭和25年を限りに公立の教職を退き、共に学校経営に力を尽くすと言ってくれたのである。要二は川越市立大東西小学校の校長として在任中であつたが、今後の本格的な学校経営のため、任期を残しての決断である。

両親に励まされ、夫に勧められて、ぬみよは土地の買収に踏み切った。同時に「山村女子高等学校」設置認可の申請を提出、戦後の新しい教育制度の中に大きく歩を進めることになったのである。

昭和25年（1950）11月3日、私立高等学校設置認可が下り、ここに新制「山村女子高等学校」が誕生した。

新しい校舎の建築工事が昭和26年1月から始まった。普通教室6室に加え、校長室、職員室、宿直室など。霞ヶ関村（現川越市市場）の田村工業所が請け負った。田村工業所の田村政太郎社長は非情に「義侠心」のある人だった。工事期間中、朝鮮戦争のあおりを受けて建築資材や人件費が暴騰し、請

け負った工費では到底間に合わないことが判ったが「男が一度、約束したことだ」と言い、契約通りの工事を進めてくれたのである。



山村女子高等学校を坂戸町に設置 (昭和26年7月15日落成式)

昭和26年(1951)4月1日、山村女子高等学校(家庭科)が開校した。とはいっても、校舎の工事が延びたため、坂戸町の公会堂を借用しての授業開始となった。新1年生34名、川越高等

家政女学校から編入試験を受けた2年生11名、3年生が45名、合計90名の生徒が新しい高校で教育を受けることになった。新しい学園組織は、理事長 山村要二、校長 山村ぬみよ、教頭 小川留吉、教諭及び講師 18名であった。

公会堂の間仕切り教室での授業は、隣の部屋の声が筒抜けで落ち着かなかつたが、しばしの辛抱であった。昭和26年7月15日、校舎が完成し、落成式典が盛大に挙行された。長い年月の努力がここにようやく実ったのである。初めて目前の土地に、夢にまで見た学校らしい学校を建てることのできたのである。誰が見ても山村は、一人前になった。

式典の壇上で式辞を読むぬみよの胸は感激にふるえていた。家庭科課程を持つ高等学校にとって、調理室は不可欠の施設である。資金の関係で建築が遅れていたが、昭和28年(1953)9月30日調理室が産業教育振興法による国庫補助も受け完成した。

小仙波の川越高等家政女学校では、狭い軒下や時には青空の下での調理実習をしたこともあり、専用の調理室を持つことが年来の夢であった。

昭和34年(1959)11月4日、学校祭の第1日目、夜11時45分頃、調理室のかまど付近から出火し、全焼してしまった。建築してから6年目の調理室が一瞬のうちに灰燼に帰してしまつた。原因は失火ではなく設備上の問題であることが判明した。

調理室の再建工事は昭和37年(1962)、産業教育振興法による国庫補助を再び受けて、前より広く、そして最新式の備品が整えられて完成した。

ぬみよが初めて塾を開いたこの川越に学校をつくりたいと考え市内の土地を見て回っている矢先に、知り合った岩堀建設工業株式会社の初代社長 岩堀徳太郎氏の奔走で川越市駅近くに土地が見つかった。まだ農地として使われていたが、グラウンドまでは望めないまでも校舎を建てるに充分な広さだった。なによりも駅からの至近距離にあることが魅力であった。

土地を購入し、岩堀建設工業株式会社により校舎の建築が行われ、昭和34年(1959)10月7日落成式と山村女子高等学校の開校式が同時に挙行された。坂戸の山村女子高等学校は併設された「商業科」を川越の山村女子高等学校に移し山村第二女子高等学校と改名し「家庭科」中心の授業を進めることになった。



山村女子高等学校落成式(川越市) 昭和34年10月7日校舎全景(1号館)

創設者 山村ぬみよが技術を身につける女子教育(家庭科・商業科)一筋に歩んできた道は、時の流れで、川越市の山村女子高等学校は山村学園高等学校に、坂戸市の山村第二女子高等学校は山村国際女子高等学校から現在の山村国際高等学校に改名し、それぞれ大学進学を目指す普通科・共学校に変わった。

平松伴子著

「学校はわがいのち 山村ぬみよの歩んだ道」より抜粋

注・千人針とは、一枚の布に千人の女性が赤糸で一針ずつ縫い千個の縫玉を作り、出征兵士の武運長久を祈って贈った。日清・日露の戦争の頃から始まり、日中戦争以後盛んになった。

新型爆弾とは原子爆弾のこと。

略歴

山村 寛(やまむら ひろし)

昭和4年3月5日生(満87歳) むらさき会 相談役

昭和26年4月

山村女子高等学校(現山村国際高等学校) 教諭就任

昭和44年4月

山村女子高等学校(現山村学園高等学校) 副校長就任

平成3年4月

埼玉県高等学校文化連盟 監事就任(平成13年3月31日辞任)

平成4年2月

山村女子高等学校(現山村学園高等学校) 校長就任(平成11年3月31日辞任)

平成18年4月

学校法人山村学園 理事就任(現在に至る)

平成18年6月

学校法人山村学園 理事長就任(平成20年3月31日辞任)

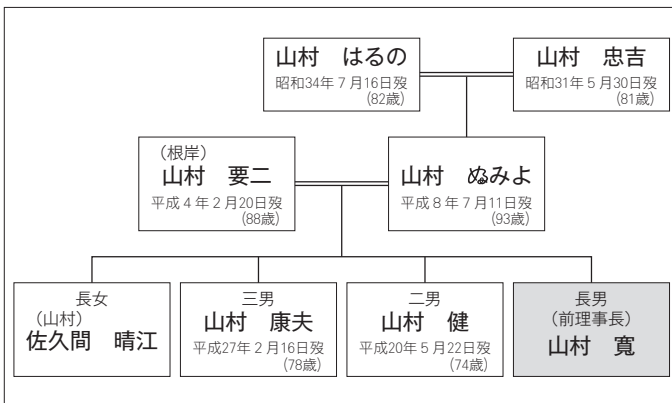
平成18年6月

埼玉県高等学校文化連盟 監事就任(平成20年3月31日辞任)

平成18年6月

埼玉県高等学校文化連盟 副会長就任(平成20年3月31日辞任)

山村家家系図



第44回むらさき会総会 開催される

平成28年6月12日(日) AM 11:30 川越プリンスホテルにて 山村女子高等学校 昭和61年度卒業生 堤 貴恵

卒業してから早いもので、もう31年。女子高だった母校もいつの間にか共学になり、もうすぐ100周年だとか。総会&懇親会に初めて出席させていただきましたが、大先輩方から今年卒業したばかりの後輩達まで、幅広い年齢層が集まりました。みんなで会えば、すぐにあの頃へ戻れる仲間達。但し、会話は健康の話が多くなつてきている気が...(笑) 私達の担任の鈴木照美先生とも、久しぶりにお会いする事が出来てうれしい一日となりました。

山村学園高等学校平成28年度卒業生 この度、むらさき会に出席させていただいて、お世話になった先生方や世代を越えた先輩方と交流を深めることができ、大変うれしく思います。山村学園で過ごした3年間は、楽しくもあり、また苦しくもありましたが、その経験を糧にし、将来の目標に向かって前進して参ります。



懇親会アトラクション(山村学園高校ダンス部)と校歌斉唱

お知らせ 第45回総会 平成29年 6月25日(日) 午前11時30分より

ご挨拶



山村国際高等学校
校長 山田 良秋 先生

むらさき会の皆様には、日頃からのご支援誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

さて早速ですが、本校の近況を述べさせていただきます。学校は、「入り口（生徒募集）」「中身（教育内容）」「出口（生徒の卒業後の進路）」で捉えることができます。

先ず、入り口ですが、お陰様で4年連続の学則定員超えを達成することができました。従来は、2年学則定員を超える翌年は定年割れというような状況でした。奇しくも私の在職中は学校経営上も好ましい状況が続いております。職員一人ひとりの精力的な生徒募集活動が功を奏しております。そして来年度は、特別進学コースAに加え特別進学コースBも入試段階から募集します。これは、四年制大学進学希望者の増加に対応するためです。

次に、中身です。昨年度は、ファッションデザインコースからライフデザインコースの変更に山村学園短期大学、女子栄養大学、杉野服飾大学との高大連携締結の実施を報告しましたが、現在更に、近隣の大学との連携を進めております。決定しましたら、改めて報告いたします。また、国際高校の特色を活かすために、

外国人教諭の増員（現在2名）も検討しております。本校は地域の評判も良く、引き続き更なる向上を目指して頑張りたいと存じます。

最後に、本校の出口、即ち生徒の卒業後の進路先に関しての報告です。昨年度の卒業生240名の進路先の内訳は、四年制大学50.2%でした。国立大学5人、私立では、津田塾大学、明治大学、立教大学、法政大学、学習院大学といった難関大学に複数合格を出すことができました。直近の3年間で、国立大学には、28名が合格しています。昨年度の四年制大学以外の進路は、短期大学27名、専門学校に64名、就職15名、進学準備等が16名となっております。

最後に部活動の成績を付け加えます。バトントワリング部や生物部の全国的な活躍をはじめ、多くの部活動が頑張っており、放課後の活気は素晴らしいものがあります。昨年度は、先の2部に加え、ダンス部、サッカー部、陸上部女子長距離の活躍が目立ちました。本校の部活動の結果は、近い将来、新聞等に「大きな活字」で紹介されると思います。

むらさき会の皆様、今後山村学園全体の応援よろしくお願ひ申し上げます。



昨年の紫藤祭

平成28年度 山村学園むらさき会予算書

予算収入総額	11,693,100
予算支出総額	11,693,100
差引残高	0

収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	付記
28年度卒業生入会金	7,120,000	7,080,000	40,000	山村学園高等学校 436名×10,000円 山村国際高等学校 276名×10,000円
繰越金	4,572,800	3,177,586	1,395,214	
雑収入	300	300	0	利息等
総合計	11,693,100	10,257,886	1,435,214	

支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	付記
1. 会議費	200,000	200,000	0	常任委員会等経費
2. 総会費	1,000,000	1,000,000	0	総会経費(案内通知・会費等)
3. 事業費	1,500,000	1,500,000	0	記念品代・むらさき会だより作成費・文化祭出展経費
4. 記念事業費	3,300,000	3,300,000	0	記念事業積立金(特別会計予算書は別紙)
5. 事務費	350,000	350,000	0	通信費・消耗品代等
6. 派遣費	70,000	70,000	0	入学式・入会式・卒業式等
7. 旅費	200,000	200,000	0	常任委員会等交通費
8. 慶弔費	50,000	50,000	0	
9. 交際費	70,000	70,000	0	諸行事手土産代
10. 雑費	5,000	5,000	0	
11. 特定預金	4,500,000	0	4,500,000	定期預金
12. 予備費	448,100	3,512,886	△ 3,064,786	
合計	11,693,100	10,257,886	1,435,214	

平成28年6月12日
山村学園 むらさき会
会長 田中 久子

平成27年度 山村学園むらさき会決算書

収入総額	10,188,374 円
支出総額	5,615,574 円
差引残額	4,572,800 円

収入の部

(単位 円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	付記
27年度卒業生入会金	7,080,000	7,010,000	△ 70,000	山村学園高等学校 460名×10,000円 山村国際高等学校 241名×10,000円
繰越金	3,177,586	3,177,586	0	
雑収入	300	788	488	預金利息
総合計	10,257,886	10,188,374	△ 69,512	

支出の部

項目	当初予算額	充当増減額	現計予算	決算額	増減(△)	付記
1 会議費	200,000	0	200,000	85,611	114,389	常任委員会等経費
2 総会費	1,000,000	0	1,000,000	834,259	165,741	総会経費(案内通知・会費等)
3 事業費	1,500,000	0	1,500,000	1,169,885	330,115	記念品代・むらさき会だより作成費・文化祭出展経費
4 記念事業費	3,300,000	0	3,300,000	3,300,000	0	記念事業積立金(特別会計報告書は別紙)
5 事務費	350,000	0	350,000	40,445	309,555	通信費・消耗品代等
6 派遣費	70,000	0	70,000	45,000	25,000	入学式・入会式・卒業式等
7 旅費	200,000	0	200,000	88,860	111,140	常任委員会等交通費
8 慶弔費	50,000	0	50,000	8,000	42,000	結婚・出産祝
9 交際費	70,000	0	70,000	43,514	26,486	諸行事手土産代
10 雑費	5,000	0	5,000	0	5,000	
11 予備費	3,512,886	0	3,512,886	0	3,512,886	
合計	10,257,886	0	10,257,886	5,615,574	4,642,312	

平成27年度決算書を提出します。

平成27年度の決算は諸帳簿を慎重に監査した結果決算書の通り適正に執行していることを認めます。

平成28年6月12日

平成28年4月13日

会長 田中 久子

会計監査 山田 治江 坂田 正枝

覚えやすい説明のある

ネームプレートの設置



山村学園短期大学
学長 野口一夫先生

本学は「埼玉景観賞」を受賞した緑の潤いに包まれ、四季折々の自然の美しさに溢れたキャンパスが広がっている。学生のみならず教職員にも、たくさんさんの樹木や野草に親しみを感じてもらうため、ネームプレートを作製し設置した。

シラン ラン科



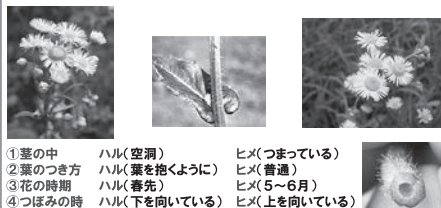
花 5月
シラン顔しないでよく観察しよう！



ネームだけでなく

比較するポイントを！

「ハルジオン」と「ヒメジョオン」の違い
違いを確かめてみよう！



①茎の中 ハル(空洞) ヒメ(つまっている)
②葉のつき方 ハル(葉を抱くように) ヒメ(普通)
③花の時期 ハル(春先) ヒメ(5~6月)
④つぼみの時 ハル(下を向いている) ヒメ(上を向いている)

アカマツ(赤松)



赤松 新芽が赤く樹皮も赤い
葉はねじれて細い
葉の先端 痛くない
建築資材に適す

違い

クロマツ(黒松)



新芽が白い
葉は直線
葉の先端 痛い
海岸の防風林

米国の自然科学者レイチェル・カーソンは「美しいものを美しいと感じる感覚・」感性の重要性を説いている。植物などに親しみ、自然界の摂理を垣間見ながら感性を豊かにしていきたいものである。
本学においての際は、ぜひネームプレートをご覧ください。

平成27年度 特別寄附
山村学園高等学校へ



調理室
食器棚



書道室
机・椅子



教員ラウンジ
椅子

山村学園は
創立100周年を迎えます
2022(平成34)年

創立100周年に向けて、準備を進めています。
皆様のご支援・ご協力を、お願いいたします。

編集後記

「むらさき会だより」の編集会議は、例年ならば真夏の太陽が照りつける日々が多いのですが、今回は涼しい日々の中の編集でした。
「むらさき会だより第20号」をお届けしますので、ご覧ください。
今回は、「山村学園の歴史を語る」と題し、前理事長の山村寛先生からの特別寄稿を掲載させていただきました。当時の状況を知らず得ることは、とても意義深いことです。現在の山村学園の姿は、長い歴史と多くの人々の努力の賜物であることを再認識させていただきました。
この「むらさき会だより」が会員相互の発信元になれることを心から願っています。

むらさき会平成28年度役員一覧

会長	田中 久子
副会長	伊藤 勲子
相談役	野島 康子
顧問	平本 住枝
顧問	山村 寛
顧問	岡 實
顧問	萩原 重範
顧問	山田 良秋
事務局	猪鼻 光

むらさき会連絡先

山村学園高等学校

〒049-1113 川越市田町16-2
☎049-225-3565

山村国際高等学校

〒049-281-0221
☎049-281-0221
〒350-0214 坂戸市千代田1-2-23